

みずほCustomer Desk Report 2022/07/13号 (As of 2022/07/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.25 AUD/USD
TKY 9:00AM	137.44	1.0046	137.90	1.1899	0.6741
SYD-NY High	137.53	1.0074	138.03	1.1914	0.6778
SYD-NY Low	136.47	1.0001	137.03	1.1808	0.6712
NY 5:00 PM	136.88	1.0036	137.38	1.1885	0.6757

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,981.33	▲ 192.51	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	11,264.73	▲ 107.87	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,818.80	▲ 35.63	米国2年債	3.0491%	▲0.0195%
日経平均	26,336.66	▲ 475.64	米国5年債	3.0187%	▲0.0340%
TOPIX	1,883.30	▲ 31.36	米国10年債	2.9688%	▲0.0222%
シカゴ日経先物	26,470.00	▲ 155.00	独10年債	1.1300%	▲0.1155%
ロンドンFT	7,209.86	13.27	英10年債	2.0605%	▲0.1165%
DAX	12,905.48	73.04	豪10年債	3.4340%	▲0.1330%
ハンセン指数	20,844.74	▲ 279.46	USDJPY 1M Vol	12.15%	▲0.31%
上海総合	3,281.47	▲ 32.12	USDJPY 3M Vol	11.83%	▲0.13%
NY金	1,724.80	▲ 6.90	USDJPY 6M Vol	11.54%	▲0.07%
WTI	95.84	▲ 8.25	USDJPY 1M 25RR	▲1.33%	Yen Call Over
CRB指数	276.01	▲ 11.76	EURJPY 3M Vol	13.57%	▲0.08%
ドルインデックス	108.07	0.05	EURJPY 6M Vol	13.26%	▲0.06%

東京	東京時間ドル円は137.44レベルでオープン。序盤は前日の米株安と、日経平均株価大幅安の展開にリスクオフモードとなる中、円買いが強まり一時137.03まで下落した。その後は時間外米長期金利が低下幅を縮小したことを受け、ドル円もじりじりと値を上げ、137.53まで上昇するなど底堅く推移し、137.31レベルで海外時間へ渡った。また本日は日米財務相会談が開催されたが、特段大きな影響もなく会談を終えた。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は137.31レベルでオープンし、リスク回避の円買いで続落。一本調子で下値を切り下げて、136.77レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場でユーロドルが買い戻される展開にドル円は上値を切り下げ、136.63まで下落し、136.77レベルでNYオープン。本日は主要な経済指標の発表がなく、明日の米CPI結果を見極めたいとの見方から狭いレンジでの推移が続くが、NYオプションカットに掛けて136.47まで下落。午後に入り、バーキン・リッチモンド連銀総裁の「6月のCPIも高い数字になると予想」、「ソフトランディングは本当に難しい」等の発言が伝わるが、特段驚く内容も見当たらなかったことから、ドル円は調整中心の値動きとなり、136.88レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルは、引き続き上値の重い展開が続く、独7月ZEW景気期待指数が、予想比大幅に悪化したことからパリティ割れに迫る1.0001まで下落するが、オプションバリアが意識され急速に買い戻される展開に1.0070まで戻し、1.0040レベルでNYオープン。朝方は中国のロックダウン懸念等を背景に米金利が低下する中、ユーロドルは1.0074まで戻す。午後は米金利が上昇する展開にドル買いが持ち込まれ1.0032まで反落し、1.0036レベルでクローズした。(NY井上)

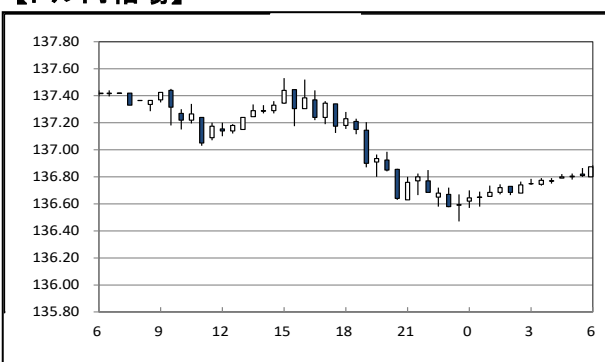
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月12日	09:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	7月	83.8
	18:00	独 ZEW(景気期待/調査現状)指数	7月	-53.8/-45.8
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	7月	-40.5/-34.5
				-

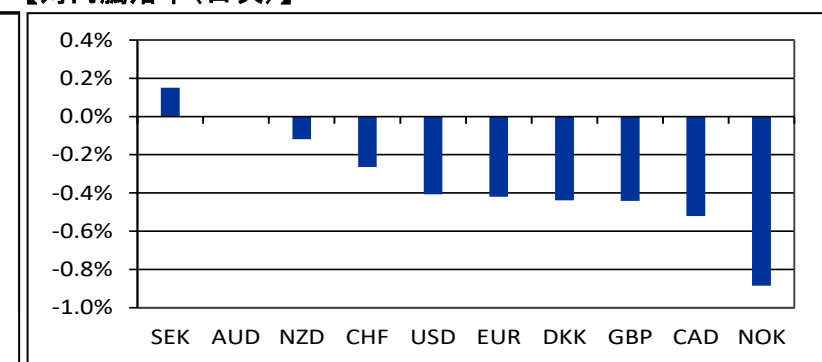
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月13日	-	中 貿易収支	6月	\$76.8B
	-	中 輸出/輸入(前年比)	6月	\$78.76B
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	6月	12.5%/4.0%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)・確報	6月	16.9%/4.1%
		米 CPI(前月比/前年比)	6月	0.1%/7.6%
7月14日	03:00	米 ベージュブック	6月	0.1%/7.6%
				1.0%/8.6%
				-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.00-137.60	0.9950-1.0100	136.70-138.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は海外時間にかけてじり安の展開。137.44レベルでオープン後は日本株安によるリスクオフの円買いが強まるも底堅く、137円台前半で推移。海外時間はユーロドルの反発によるドル売りを受け、ドル円は136.47まで下落するも、引けにかけては特段材料もない中、米6月CPI結果を見極めたいとの見方から調整中心の値動きとなり、136.88レベルでクローズした。

本日のドル円は、堅調推移を予想。米6月CPIの発表を控えており、市場予想は前回+8.6%を超える+8.8%となるなど米インフレへの警戒感が高まっている状況。市場予想を更に上回る結果となれば、FRBによる9月以降の利上げペースが加速すると見られ、ドル円には上昇圧力が強まりやすいだろう。また、パウエルFRB議長も従前からインフレ抑制を最優先する旨の言及をしており、利上げ加速による景気悪化への懸念については既に市場は織り込み姿勢でいるとの見方もドル円上昇のサポート材料となるか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・鈴木